

報道関係各位

2026 年 2 月 26 日
第一園芸株式会社

**日本最古の遊園地「浅草花やしき」の屋上庭園が
87 品種の植物が彩る新たな憩いの空間に生まれ変わる
創業 128 年を迎える第一園芸がデザイン・施工を担当
3 月 20 日（金・祝）リニューアルオープンでは 250 本の花を来場者へプレゼント**

花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山村勝治、三井不動産グループ）は、株式会社花やしき（所在地：東京都台東区、代表取締役社長：西川 豊史）の「屋上庭園」リニューアルのデザイン、施工を担当いたしました。



屋上庭園イメージ画像

■植物をふんだんに使い伝統と遊び心を織り交ぜた浅草花やしきの新屋上庭園を第一園芸がデザイン

浅草の観光スポットとして多くの方が訪れる浅草花やしきの屋上庭園がリニューアルオープンします。日本最古の遊園地である浅草花やしきは、江戸時代末期嘉永 6 年（1853 年）に造園師森田六三郎氏により、牡丹と菊細工を主とした花園（かえん）として誕生しました。リニューアルを担当した第一園芸の緑化事業本部は、花にゆかりのある浅草花やしきの屋上庭園を多くの方々にご利用いただき喜んでいただけるよう、長年培ってきた実績やノウハウを生かし、四季を彩る草花や樹木を用いた植栽に加え、人工芝やウッドデッキなどを取り入れた外構デザインによって憩いの場になるようデザイン・施工を担当しました。

《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 ブランド推進部 岡本

Tel : 03-6404-1501 / Mail : info_pr@daiichi-engei.co.jp

■87 品種の植物が四季を紡ぐ、浅草の街並みとともに楽しむ新スポット

「花やしき」の名にちなみ、四季折々の草花や木々を楽しめるよう 87 品種もの多彩な植物を導入し、季節ごとに変化を楽しめる空間になっています。人工芝を多用し、お子さまが安全に楽しみ、大人もほっと一息できるエリアとして、多種多様な休憩スポットを設置しました。

また、浅草の街並みが一望できるエリアは、多彩な植物を楽しみながら浅草の街並みと撮影ができるフォトスポットとしてもお楽しみいただけます。

展望を楽しめるエリアの他、四季折々の草花がメインとなるエリアやウッドデッキでゆったりくつろぎながら木々のゆらぎや変化を楽しめるエリアも見どころです。球根の神様「ブラ坊さん」や花のマークがさりげなく隠された床面デザインなど、遊び心を散りばめた演出も随所にあり、訪れるたびに新しい発見が楽しめます。

さらに、多くの方に楽しんでいただけるようウッドデッキによるバリアフリー経路を設置。木のぬくもりを感じながら季節を彩る草花がみなさまをお出迎えいたします。



様々な場所で心地よくくつろげるデザイン



段々状のウッドデッキで構成されたエリア

■「桜（マメザクラ）」の記念植樹を実施

リニューアルを記念して「桜（マメザクラ）」を植樹します。

ご来園のみなさまを見守り、屋上庭園の豊かな緑を育てていきます。



画像はイメージです

■リニューアルオープンをみなさまで祝うために第一園芸が厳選した春を彩る 250 本の花を配布

リニューアルオープンを記念し、3 月 20 日（金・祝）の入園者限定で第一園芸が厳選した 250 本の花をプレゼントいたします。

屋上庭園のリニューアルオープンを多くの方とお祝いしたいという気持ちを込め、花やしきの結婚・良縁の球根の神様「ブラ坊さん」にちなんだ球根植物のフレッシュな春の切花をご用意します。

春ならではのカラフルなお花とともに浅草花やしきをぜひお楽しみください。

※なくなり次第終了。詳細は浅草花やしきの公式 WEB サイトをご確認ください。



球根の神様「ブラ坊さん」



画像はイメージです

■浅草花やしき

浅草花やしきは、江戸時代末期嘉永 6 年（1853 年）に造園師である森田六三郎氏により、牡丹と菊細工を主とした花園（かえん）として誕生した日本最古の遊園地です。

人気の「ローラーコースター」や「ビックリハウス®」をはじめ、さまざまなアトラクションと縁日コーナー、飲食店舗など、時代と共に常に成長をし続けるリアルな「遊びの“場”」として広い世代の方に親しまれています。

所在地：東京都台東区浅草 2-28-1

営業時間：10：00～18：00（営業時間は季節・天候により異なります）※最終入園は閉園 30 分前まで

公式 WEB サイト：<https://www.hanayashiki.net/>

■第一園芸株式会社 概要

第一園芸は、花と緑のプロフェッショナルとして創業 128 年を迎える、三井不動産グループの企業です。店舗やオンラインショップでの個人/法人向け商品の販売、婚礼装花、オフィスビルや商業施設などの都市緑化や公園・庭園などの造園・管理を手がける緑化事業、季節の空間装飾事業など、幅広い事業を展開しています。今後も第一園芸は花と緑に囲まれ豊かで潤いのある、そして持続可能な社会の実現を目指して挑戦しつづけます。

所在地：東京都品川区勝島 1 丁目 5 番 21 号 三井物産グローバルロジスティクス勝島 20 号館

代表者：代表取締役社長 山村勝治

創業：1898 年（設立 1951 年）

資本金：4 億 8 千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

HP：<https://www.daiichi-engei.jp/>

公式 Facebook：<https://www.facebook.com/daiichiengei/>

■第一園芸株式会社の緑化事業について

造園設計・施工、職人による訪問/駐在での維持管理のほか、屋上・壁面緑化や、当社独自の種子ブレンド「花畑システム」など、様々な花と緑の事業を行っています。

緑の空間を常に美しく保つために、専門のスタッフによる適切な植栽維持管理を行っています。

URL：<https://www.daiichi-engei.jp/landscape/>

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針策定」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
- ・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>